

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1940
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.34, No.7 (1940. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19400701-0139">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19400701-0139</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

に之れと共に古代經濟制度の一宗部分を救濟せるものは個人主義的貴族階級であつた。従つて此の階級は舊ブルデュワジイ其れ自體の殘存者が企圖せるよりも大なる程度に於いて舊ブルデュワジイによつて演ぜられた役割を引き受けたのである。然しながら、吾人は這般の過程中に於いて舊ブルデュワ的都市文化及び經濟より其の封建的田園的文化及び經濟に移るの傾向が次第に増加しつゝあつたことを認めなければならぬ。而も、這般の變化は實に古代社會の眞終末を劃するものである。(pp. 280-281.)

## 三

本章に次いで、吾人に取つて興味あるは、エルランゲン大學古代史教授哲學博士エヌスリン氏 (W. Euslin) の筆に成る「ディオクレチアヌスの諸改革」と題する第十一章であらう。就中、注意すべきものは課稅改革及び鑄貨規制である。眞實の諸物價騰貴を抑止せんとする一般的意向と共に、鑄貨の再評價に由る物價の人爲的騰貴に對する兵士の保護は實に有名なる二百〇一年の物價統制、即ち「物價に關する勅令」發布の理由として其の前文中に掲げらるゝ所である。(pp. 404-405.)

ハーヴィード大學宗教史教授名譽法學博士ノック氏 (A. D. Nock) 執筆の「羅馬帝國內に於ける異教主義の發達」、劍橋大學神學教授神學及び文學博士故ベーキット氏 (Francis Crawford Burkitt) 執筆の「異教哲學と基督教會」及び「東方に於ける基督教會」並びに伯林大學教會史教授名譽神學及び哲學博士リーツマン氏 (Hans Lietzmann) の「西方に於ける基督教會」等の諸章も亦思想史の研究者に取つては必讀のものであらう。(菊判八百四十九頁。丸善書店賣價金三十五圓六十錢)。

## 前號(第三十四卷)目次

## ○再生產理論の構造變化

——國防經濟學研究の一節——

## ○近世に於ける西洋地理學

——その史的素描——

## ○獨逸騎士團について

——その成立・活動・衰退——

## ○アダム・スマスと國民主義經濟學

高橋誠一郎

(アダム・スマス歿後一百五十年記念講演會講演)

## ○ニベル「デモクラフィーと

寺尾 琢磨

## ○衛生統計に關する講義

岩田 似

## ○政策論の展望

## ○三田學會雜誌第三十四卷前半總目錄

三田學會雜誌		第三十四卷		禁 載		一冊定價 金五拾 錢 郵稅金壹錢五厘		半ヶ年分 金貳圓九拾錢		年分 金貳圓九拾錢		編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛		原稿締切期日は發行の前月十日限	
昭和十五年六月廿五日印刷納本		昭和十五年七月一日發行		東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾內		編輯兼		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		江 田 範		第四編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地	
十三		七		印 刷 者		金 子 鐵 五 郎		印 刷 所		金 子 活 版 所		第五編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地	
十四		八		東京市芝區三田二丁目一一番地		電話三田(45)一一九一六番		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第六編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一七番	
十五		九		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第七編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第八編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一八五二番	
十六		十		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第九編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第十編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二〇番	
十七		十一		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第十一編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第十二編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二一〇番	
十八		十九		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第十三編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第十四編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二二〇番	
十九		二十		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第十五編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第十六編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二三〇番	
二十		二十一		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第十七編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第十八編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二四〇番	
二十一		二十二		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第十九編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第二十編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二五〇番	
二十二		二十三		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第二十一編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第二十二編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二六〇番	
二十三		二十四		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第二十三編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第二十四編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二七〇番	
二十四		二十五		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第二十五編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第二十六編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二八〇番	
二十五		二十六		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第二十七編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第二十八編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二九〇番	
二十六		二十七		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第二十九編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第三十編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二九二〇番	
二十七		二十八		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第三十一編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第三十二編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二九三〇番	
二十八		二十九		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第三十三編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第三十四編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二九四〇番	
二十九		三十		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第三十五編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第三十六編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二九五〇番	
三十		三十一		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第三十七編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第三十八編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二九六〇番	
三十一		三十二		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第三十九編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第四十編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二九七〇番	
三十二		三十三		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第四十一編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第四十二編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二九八〇番	
三十三		三十四		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第四十三編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		第四十四編		東京市赤坂區新町五丁目四十二番地		電話三田(45)一一九一九二九九〇番	
三十四		三十五		東京市赤坂區新町五丁目四十二											